Creative Enzymes®

LTA4（ロイコトリエンA4メチルエステル）

Cat. No. CSUB-0864

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	LTA4（ロイコトリエンA4メチルエステル）は、特定の脂肪酸の内因性代謝物であるロイコトリエンファミリーの一員であり、トロンボキサンやプロスタグランジンに関連しています。これらは、炎症、免疫機能、そして生物学的ホメオスタシスの維持において多くの役割を果たす強力なエイコサノイド脂質メディエーターです。ロイコトリエンは共役トリエン構造を持ち、その名前の由来となっています。一般的に白血球から分離され、特定のGタンパク質共役受容体を介して主に作用します。ロイコトリエンA4メチルエステルは、LTB4およびLTC4の生合成における不安定な中間体です。□察結果は、自然に存在する遊離酸がLTA4H（LTA4ヒドロラーゼ）およびLTC4シンターゼの基質であり、細胞間ロイコトリエンおよびリポキシンの生合成において中心的な役割を果たすことを示しています。また、ヒト好中球においてCa2+を動員することも示されています。この製品は、より高い安定性のためにメチルエステルとして供給されます。
用途	LTB4およびLTC4の生合成における不安定な中間体
別名	(-)-ロイコトリエンA4メチルエステル; ロイコトリエンA4メチルエステル; 5S-トランス-5,6-オキシド-7E,9E,11Z,14Z-エイコサテトラエン酸、メチルエステル; (-)-ロイコトリエンA4; ロイコトリエンA4-メチルエステル溶液 (100UG/ML ヘキサン/1% トリエチルアミン)

製品情報

形態	液体
***CAS*登□番号**	73466-12-3
分子式	C21H32O3
分子量	332.5
純度	>95%
融点	28-32° C (リット)
溶解度	クロロホルムに可溶。
基質	PKA
屈折率	1.65（予測値）

保管・発送情報

保存方法	-80° Cで保管してください